

化学療法プロトコール

申請日： 令和 6年10月22日 申請医師： 熊谷 秀基
 診療科： 外科 癌腫： 食道がん
 実施区分： 入院

管理番号	C031206	レジメン名： 分割DCF療法
1コース期間	4週	総コース数

備考：
 ・聴覚毒性(CDDP300mg/m²以上)、末梢神経障害、眼障害、嗅覚障害に注意。・間質性肺炎に注意。・CDDP投与前後の1~2Lの輸液投与と尿量(2~3L/日)の確保を行う。CDDP: 腎障害時の投与変更例Ccr 60~46(25%減量) 45~31(50%減量) 30≧(使用中)

番号	薬剤名	基準投与量	投与量上限	規格	投与方法	投与スケジュール(day1等)
1	ドセタキセル(アルコールフリー製剤)	30 mg/m ²		自動	点滴	day1, day15
2	シスプラチン	80 mg/m ²		自動	点滴	day1
3	5-FU	800 mg/m ²		自動	点滴	day1~day5

備考：
 抗がん剤はメインから、それ以外は側管から投与。

実施内容

day1 処方 <内服> 臨時 <4mg> デカドロン錠4mg 2錠 朝1錠、昼1錠 ★化学療法翌日より服用 朝 昼 食後30分 3日 注射 <1> 点滴 セイヨク(生食) 【100mL】 ●● 1瓶 ☆プライミング・ウォッシュアウト用 ★バックスパイク使用 <2> 点滴 セイヨク(生食) 《500mL》 1袋 ★側管① ☆2時間で点滴 <3> 点滴 ハロネド点滴静注バッグ 0.75mg/50mL「タイク」 1袋 アカリス点滴静注235mg/10mL 1瓶 【H】 【6.6mg】 デキサト注射液 6.6mg/2mL 1瓶 【H】 デキサト注射液 3.3mg/1mL 1A ★側管② ☆30分で点滴 <4> 点滴 ドセタキセル(アルコールフリー製剤) 30 mg/m ² 1袋 生理食塩液 250mL 1袋 ★メインルート① ☆60分で点滴 <5> 点滴 硫酸Mg補正液2.46g/20mL 0.4管 セイヨク(生食) 《500mL》 1袋 ★側管③ ☆2時間で点滴 <6> 点滴 シスプラチン 80 mg/m ² 1袋 セイヨク(生食) 《500mL》 1袋 ★全量500mLに調製：シスプラチン使用量分の生食を抜去 ★側管③終了後投与開始 ★メインルート② <7> 点滴 フルオロウラシル 800 mg/m ² 1袋 生理食塩液バッグ「フソ」(1L/袋) 1袋 ★メインルート③ ★24時間で点滴 <8> 点滴 アドミド 注20mg 「NIG」 (ラジックス) 1A	セイヨク(生食) <50mL>◆ 1瓶 ★メインルート②終了後投与開始 ★側管④ ☆15分で点滴 <9> 点滴 長期) プリンラン注射液10mg (2mL) 1A セイヨク(生食) 《500mL》 1袋 ★側管⑤ ☆2時間で点滴 <10> 点滴 セイヨク(生食) 《500mL》 1袋 ★側管⑥ ☆2時間で点滴 day2 注射 <1> 点滴 フルオロウラシル 800 mg/m ² 1袋 生理食塩液バッグ「フソ」(1L/袋) ★24時間で点滴 day3 注射 <1> 点滴 フルオロウラシル 800 mg/m ² 1袋 生理食塩液バッグ「フソ」(1L/袋) ★24時間で点滴 day4 注射 <1> 点滴 フルオロウラシル 800 mg/m ² 1袋 生理食塩液バッグ「フソ」(1L/袋) ★24時間で点滴 day5 注射 <1> 点滴 フルオロウラシル 800 mg/m ² 1袋 生理食塩液バッグ「フソ」(1L/袋) ★24時間で点滴 <2> 点滴 セイヨク(生食) 【100mL】 ●● 1瓶 ☆プライミング・ウォッシュアウト用 ★バックスパイク使用 day15 注射 <1> 点滴 セイヨク(生食) 【100mL】 ●● 1瓶
---	---

化学療法プロトコール

申請日： 令和 6年10月22日

申請医師： 熊谷 秀基

診療科： 外科

癌腫： 食道がん

実施区分： 入院

管理番号	C031206	レジメン名： 分割DCF療法
------	---------	----------------

<p>☆プライミング・ウォッシュアウト用 <2> 点滴 【H】 【6.6mg】 テキサト注射液 6.6mg/2mL 1 瓶 セイヨク(生食) <50mL> ◆ 1 瓶 ☆ 15分で点滴 <3> 点滴 ドセタキセル(アルコールフリー製剤) 30 mg/m² 生理食塩液 250mL 1 袋 ☆ 60分で点滴</p>	
---	--